

**丸形フード
防火ダンパー付丸形フード
取付工事説明書**

販売店・工事店さま用

この製品は、三菱業務用ロスナイをダクト配管して給気・排気をする場合に屋外側のダクト先端に取付けて使用するものです。防火ダンパー付丸形フードは、ダクト配管を通して火災の広がるのを防止する構造になっています。

●防火ダンパーの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

■取付工事を始める前に、説明書をよくお読みになり正しく安全に取付けてください。

■取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

丸形フード（標準タイプ）			防火設備該当品 防火ダンパー付丸形フード		
ステンレス製	アルミ製	適用ダクト口径	ステンレス製	温度ヒューズ溶断温度	適用ダクト口径
PZ-10FS4	PZ-10FA3	φ100	PZ-10FSD5	72°C	φ100
PZ-15FS4	PZ-15FA3	φ150	PZ-15FSD5	72°C	φ150
PZ-20FS4	PZ-20FA3	φ200	PZ-20FSD5	72°C	φ200
PZ-25FS4		φ250	PZ-25FSD6	72°C	φ250

●適用ダクトの種類…スパイラルダクト・フレキシブルダクト・塩ビ管(VU)、(VP)（塩ビ管(VP)はPZ-15(φ150)以上には接続不可）

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止 防火ダンパーを密閉または、半密閉の燃焼設備（給湯機・風呂釜など）の排気ダクトには使用しない（誤動作によりダンパーが閉じて排気ガスが逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります）

注意 誤った取扱いをしたときに、損害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

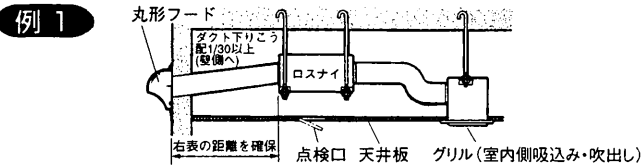
禁止 ●下水の排気口には使用しない（腐食によりフードが落下する恐れがあります）

指示に従い必ず行う ●取付けは確実に行う（落下によりけがをする恐れがあります）
●取付けの際は、手袋を着用する（着用しないと端面などでけがをすることがあります）

取付け前のお願い

- 点検・清掃や温度ヒューズの交換が容易にできる場所へ取付けてください。
- ダクトは、配管長さ2m以上で1/100の傾斜が必要です。給気として使用する場合は、1/30の傾斜が必要です。
- バネによる取付けに支障がないようダクトが外壁まで配管してあるか確認してください。

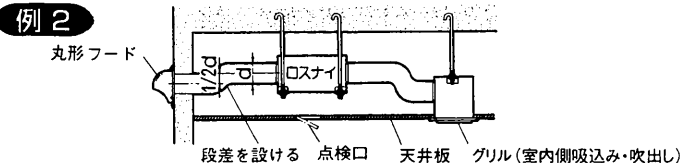
雨水浸入防止対策例



雨水浸入防止として次のような対策を施してください。

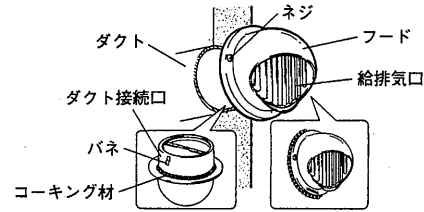
- ①ダクトに1/30以上の下りこう配をつける。
- ②外壁からロスナイまで下表の距離を確保する。

形名	距離
PZ-10・15	2m
PZ-20・25	4m



取付方法…PZ-25FSD₆を除く

…防火ダンパー付は取付ける前に温度ヒューズが正常に取付けられているか確認してください。



フードの取付け

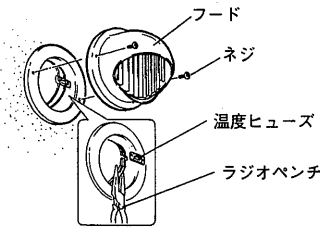
1. フードを取付ける前に、市販のコーキング材でダクト接続口の根元に防水処理を施す。
2. 給排気口を向下向きにしてダクトに差し込む。（バネにより固定されます）
3. フードの全周と外壁とのすき間に、市販のコーキング材で防水処理を施す。

PZ-25FSD₆の場合

1 取付け前の準備	2 ダクト接続口の取付け	3 フードの取付け
<p>●PZ-25FSD₆の場合は、温度ヒューズが取付けられません。下記より取付けます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フードを取りはずす。（ネジ2本をはずす） 〔③フードの取付けの図参照〕 2. ダクト接続口の側面にテープ止めされている温度ヒューズを取りはずし、両方のダンパーを指ではさみ、温度ヒューズを取付ける。 3. ダクト接続口の根元に、市販のコーキング材で防水処理を施す。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上記により、外壁にφ4.8、深さ45mmの穴を4か所あける。 2. 市販のカールプラグ（#8）4個を挿入し、ダクト接続口を市販のステンレス製木ネジ（4本）で固定する。 <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アンカーボルトは使用しないでください。ボルトがフードと干渉し、取付けできません。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネジ（2本）を締め付け元通りフードを取付ける。 〈締付トルク：140N・cm以下〉 2. フード全周と外壁のすき間に市販のコーキング材で防水処理を施す。

温度ヒューズの交換

…温度ヒューズの交換は、販売店・工事店に依頼してください。



1. コーキングを取り、ネジ（2本）をはずして、フードをはずす。
2. 両方のダンパーを指ではさみ、温度ヒューズを取付ける。（つまみにくいときは、ラジオペンチ等を使用します）
3. フードを元通り取付ける。
〈締付トルク：140N・cm以下〉
4. フード全周と外壁のすき間に市販のコーキング材で防水処理を施す。

点検 点検は1年に1回を目安に次の確認をする。

- フードにサビ等の腐食がないか？
- 取付状態はフードが傾いたり、壁とのすき間が生じてないか？
- 周囲のコーキング材がはがれていないか？